



外線コール転送の制限

- [外線コール転送の制限の概要 \(1 ページ\)](#)
- [外部コール転送の制約事項の設定タスク フロー \(2 ページ\)](#)
- [外線コール転送の制限の連携動作 \(7 ページ\)](#)
- [外線コール転送の制限 \(8 ページ\)](#)

外線コール転送の制限の概要

外線コール転送の制限は、ゲートウェイ、トランク、およびルート パターンを、システム レベルでオンネット（内部）デバイスまたはオフネット（外部）デバイスとして設定するために使用できる機能です。デバイスをオフネットとして設定すると、外部デバイスへの外線コールの転送を制限できるため、電話料金の詐欺行為の防止に役立ちます。

[オフネット間転送のブロック (Block OffNet to OffNet Transfer)] サービスパラメータが [はい (True)] に設定されている場合に、オフネット ゲートウェイまたはトランクでコールを転送しようとする、コールを転送できないことを通知するメッセージがユーザの電話に表示されます。

この章では、次の用語を使用します。

用語	説明
オンネット デバイス	オンネットとして設定されており、ネットワーク内部にあるものと見なされるデバイス。
オフネット デバイス	オフネットであるものと見なされ、ルーティング時にネットワーク外部にあるものと見なされるデバイス。
ネットワークの場所	ネットワークを基準にしたデバイスの場所（オンネットまたはオフネット）。
発信側	転送されるデバイス。システムはこのデバイスをオンネットまたはオフネットと見なします。

用語	説明
着信側	転送されたコールを受信するデバイス。システムはこのデバイスをオンネットまたはオフネットと見なします。
DN への着信コール	オンネットまたはオフネットとして分類するために、ゲートウェイまたはトランク コール分類設定だけが使用されるコール。ルートパターン コール分類設定は適用されません。
発信コール	トランク、ゲートウェイ、およびルートパターンのコール分類設定が考慮されるコール。ルートパターンの [デバイスの上書きを許可 (Allow Device Override)] 設定により、ルートパターンコール分類設定の代わりに、トランクまたはゲートウェイ コール分類設定が使用されるかどうかが決まります。

外部コール転送の制約事項の設定タスク フロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	コール転送制限のサービス パラメータの設定 (2 ページ)	外部コールが別の外部デバイスや番号に転送されるのをブロックします。
ステップ 2	着信コールを設定するには、次の手順を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> クラスタ全体のサービス パラメータの設定 (4 ページ) ゲートウェイでのコール転送制限の設定 (5 ページ) トランクでのコール転送制限の設定 (5 ページ) 	ゲートウェイ設定またはトランク設定を使用するか、クラスタ全体のサービス パラメータを設定して、オンネット (内部) またはオフネット (外部) としてゲートウェイとトランクを設定します。
ステップ 3	発信コールの設定 (6 ページ)	ルートパターンの設定を指定して、転送機能を設定します。

コール転送制限のサービス パラメータの設定

別の外部デバイスまたは番号への外部コールの転送をブロックするには、以下の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 Cisco Unified CM の管理のユーザ インターフェイスから、[システム (System)] > [サービス パラメータ (Service Parameters)] を選択します。
- ステップ 2 [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウで、[サーバ (Server)] ドロップダウン リストから、設定する Cisco Unified CM サーバを選択します。
- ステップ 3 [サービス (Service)] ドロップダウン リストから [Cisco CallManager (アクティブ) (Cisco CallManager (Active))] を選択します。
- ステップ 4 [オフネット間の転送をブロックする (Block OffNet to OffNet Transfer)] ドロップダウン リストから [はい (True)] を選択します。 デフォルト値は False です。
- ステップ 5 [保存] をクリックします。

着信コールの設定タスク フロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	(任意) クラスタ全体のサービスパラメータの設定 (4 ページ)	Cisco Unified Communications Manager クラスタですべてのゲートウェイまたはトランクを [オフネット (OffNet)] (外部) または [オンネット (OnNet)] (内部) として設定します。
ステップ 2	ゲートウェイでのコール転送制限の設定 (5 ページ)	[ゲートウェイの設定 (Gateway Configuration)] を使用して、ゲートウェイを [オンネット (OnNet)] (内部) または [オフネット (OffNet)] (外部) として設定します。 この機能を、クラスタ全体のサービスパラメータ [オフネット間転送のブロック (Block OffNet to OffNet Transfer)] と共に使用する場合、設定によってコールをゲートウェイ経由で転送できるかどうかが決まります。 次のデバイスを内部デバイスおよび外部デバイスとして Cisco Unified Communications Manager に設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • H.323 ゲートウェイ • MGCP FXO トランク

	コマンドまたはアクション	目的
		<ul style="list-style-type: none"> • MGCP T1/E1 トランク
ステップ 3	トランクでのコール転送制限の設定 (5 ページ)	<p>[トランクの設定 (Trunk Configuration)] を使用して、トランクを [オンネット (OnNet)] (内部) または [オフネット (OffNet)] (外部) として設定します。この機能を、クラスタ全体のサービスパラメータ [オフネット間転送のブロック (Block OffNet to OffNet Transfer)] と共に使用する場合、設定によってコールをトランク経由で転送できるかどうかが決まります。</p> <p>次のデバイスを内部デバイスおよび外部デバイスとして Cisco Unified Communications Manager に設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • InterCluster Trunk; クラスタ間トランク • SIP トランク

クラスタ全体のサービスパラメータの設定

Cisco Unified Communications Manager クラスタで、すべてのゲートウェイまたはトランクを [オフネット (OffNet)] (外部) または [オンネット (OnNet)] (内部) と設定するには、次の手順を実行します。

始める前に

[コール転送制限のサービスパラメータの設定 \(2 ページ\)](#)

手順

- ステップ 1 Cisco Unified CM の管理のユーザ インターフェイスから、[システム (System)] > [サービスパラメータ (Service Parameters)] を選択します。
- ステップ 2 [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウで、[サーバ (Server)] ドロップダウンリストから、設定する Cisco Unified CM サーバを選択します。
- ステップ 3 [サービス (Service)] ドロップダウンリストから [Cisco CallManager (アクティブ) (Cisco CallManager (Active))] を選択します。

- ステップ 4** [通話の分類 (Call Classification)] ドロップダウンリストから、[オフネット (OffNet)] または [オンネット (OnNet)] を選択します (デフォルトでは [オフネット (OffNet)] が指定されています)。

ゲートウェイでのコール転送制限の設定

オフネット、オンネットまたはシステム デフォルトの使用としてゲートウェイを設定するには、次の手順を実行します。システムはそれぞれオフネットまたはオンネットとしてのゲートウェイを通してネットワークに到達するコールと見なします。

始める前に

[クラスタ全体のサービスパラメータの設定 \(4 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [ゲートウェイ (Gateway)]。
- [ゲートウェイの検索と一覧表示 (Find and List Gateways)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 設定されているゲートウェイを一覧表示するには、[検索 (Find)] をクリックします。
- Unified Communications Manager で設定されたゲートウェイが表示されます。
- ステップ 3** オフネットまたはオンネットとして設定するゲートウェイを選択します。
- ステップ 4** [コールの分類 (Call Classification)] フィールドでオフネットまたはオンネットを選択します。クラスタ全体の制限をすべてのゲートウェイで有効にしている場合、各ゲートウェイを [システム デフォルトの使用 (Use System Default)] に設定します (つまり、コールの分類サービスパラメータをゲートウェイの設定として使用します)。
- ステップ 5** [保存] をクリックします。

トランクでのコール転送制限の設定

トランクを [オフネット (OffNet)]、[オンネット (OnNet)]、または [システムのデフォルトを使用 (Use System Default)] として設定するには、次の手順を実行します。[オフネット (OffNet)] または [オンネット (OnNet)] として設定されているトランクを通じてネットワークに届くコールは個々に考慮されます。

始める前に

[ゲートウェイでのコール転送制限の設定 \(5 ページ\)](#)

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [トランク (Trunk)]。

[トランクの検索と一覧表示 (Find and List Trunk)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 設定済みのトランクを一覧表示するには、[検索 (Find)] をクリックします。

Unified Communications Manager で設定されたトランクが表示されます。

ステップ 3 [オフネット (OffNet)] または [オンネット (OnNet)] として設定するトランクを選択します。

ステップ 4 [コール分類 (Call Classification)] ドロップダウンリストから、次のいずれかのフィールドを選択します。

- [オフネット (OffNet)] : このフィールドを選択すると、ゲートウェイは外部ゲートウェイとして識別されます。[オフネット (OffNet)] として設定されているゲートウェイからコールが届くと、接続先デバイスに外部リングが送信されます。
- [オンネット (OnNet)] : このフィールドを選択すると、ゲートウェイは内部ゲートウェイとして識別されます。[オンネット (OnNet)] として設定されているゲートウェイからコールが届くと、接続先デバイスに内部リングが送信されます。
- [システムデフォルトの使用 (Use System Default)] : このフィールドを選択すると、Unified Communications Manager のクラスタ全体に対するサービス パラメータである [コールの分類 (Call Classification)] が使用されます。

(注) すべてのトランクでクラスタ全体の制限を有効にした場合は、各トランクを [システムのデフォルトを使用 (Use System Default)] に設定します (つまり、[コール分類 (Call Classification)] サービスパラメータの設定が読み込まれ、その設定がトランクに使用されます)。

ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。

発信コールの設定

コールをオンネットまたはオフネットとして分類するには、[ルートパターン設定 (Route Pattern Configuration)] ウィンドウの [コール分類 (Call Classification)] フィールドをそれぞれオンネットまたはオフネットに管理者が設定します。管理者がルートパターン設定の上書きとトランクまたはゲートウェイ設定を使用ができるようにするには、[ルートパターン設定 (Route Pattern Configuration)] ウィンドウの [デバイス上書き許可 (Allow Device Override)] チェックボックスをオンにします。

始める前に

[トランクでのコール転送制限の設定 \(5 ページ\)](#)

手順

- ステップ 1 Cisco Unified CM の管理から、[コールルーティング (Call Routing)] > [ルート/ハント (Route/Hunt)] > [ルートパターン (Route Pattern)] を選択し、[検索 (Find)] をクリックしてすべてのルートパターンを一覧にします。
- ステップ 2 設定したいルートパターンを選択するか、[新規追加] をクリックします。
- ステップ 3 [ルートパターン設定 (Route Pattern Configuration)] ウィンドウで、ルートパターンの設定と転送機能を設定するには、次のフィールドを使用します。
- [コール分類 (Call Classification)] — オフネットまたはオンネットのルートパターンを使用してコールを分類するためにこのドロップダウンリストを使用します。
 - [外部のダイヤルトーン入力 (Provide Outside Dial Tone)] — コールの分類がオフネットに設定されると、このチェックボックスがチェックされます。
 - [デバイス上書き許可 (Allow Device Override)] — このチェックボックスをオンにすると、システムは、[ルートパターン設定 (Route Pattern Configuration)] ウィンドウの [コール分類 (Call Classification)] ではなく、ルートパターンに関連付けられたトランクまたはゲートウェイのコール分類を使用します。
- ステップ 4 [保存] をクリックします。

外線コール転送の制限の連携動作

機能	データのやり取り
会議の破棄	会議の破棄機能は、会議の参加者がオフネットとオンネットのどちらに設定されているかをチェックすることにより、既存のアドホック会議を破棄する必要があるかどうかを決定します。この機能を設定するには、サービスパラメータの [アドホック会議の破棄 (Drop Ad Hoc Conference)] を使用して、オプションの [オンネット参加者が会議に残っていない場合 (When No OnNet Parties Remain in the Conference)] を選択します。参加者が使用しているデバイスまたはルートパターンをチェックすることにより、各参加者のオンネットステータスを判断します。詳細については、「アドホック会議」の章からリンクしているアドホック会議に関するトピックを参照してください。

機能	データのやり取り
一括管理	一括管理は、ゲートウェイテンプレートにゲートウェイ設定（オフネットまたはオンネット）を挿入します。詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration</i> ガイド』を参照してください。
Dialed Number Analyzer (DNA)	ゲートウェイの番号分析に使用されている場合は、DNAにゲートウェイとルートパターン用に設定されたコール分類が表示されます。詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager Dialed Number Analyzer Guide</i> 』を参照してください。

外線コール転送の制限

制約事項	説明
FXS ゲートウェイ	Cisco Catalyst 6000 24 ポートのような FXS ゲートウェイには [ゲートウェイの設定 (Gateway Configuration)] ウィンドウの [コールの分類 (Call Classification)] フィールドはありません。したがって、システムは常にそれらをオンネットと見なします。
Cisco VG248 ゲートウェイ	システムは [コールの分類 (Call Classification)] フィールドがない Cisco VG248 ゲートウェイをサポートしていません。
FXS ポート	Cisco Unified Communications Manager はすべての Cisco Unified IP 電話 と FXS ポートをオフネット（外部）として設定できないオンネット（内部）と見なします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。